

(8) 生活習慣病対策機能連携推進事業

1 背景及び経緯

生活習慣病に対応できる歯科医療従事者の資質向上と、歯周病と糖尿病との医科歯科連携の体制づくりを図るため、平成20年度から3年間、県内の12地区において「歯周病と糖尿病の医療連携モデル事業」を実施した。(図1)

そこで、これまで地域で展開してきた具体的な取組を整理し、円滑に医療連携が行われている3地区を選び、糖尿病の合併症としての歯周病を予防管理するための医療連携体制(あいちモデル)を構築する。(図2)

2 目的

- 特定健診・保健指導に歯科保健の観点から効果的な指導ができる歯科医師の確保
- 糖尿病の合併症の一つである歯周病管理を徹底するための医療連携体制の構築
- 県民及び医療関係者への歯周病が糖尿病の合併症であることの普及啓発

3 事業内容 (委託先 社団法人愛知県歯科医師会)

- (1) 生活習慣病指導医スキルアップ研修(年1回)
- (2) 歯周病と糖尿病の医療連携事業(あいちモデル事業3地区、フォローアップ事業9地区)
- (3) 啓発事業

図1 生活習慣病対策機能連携推進事業の実施経過

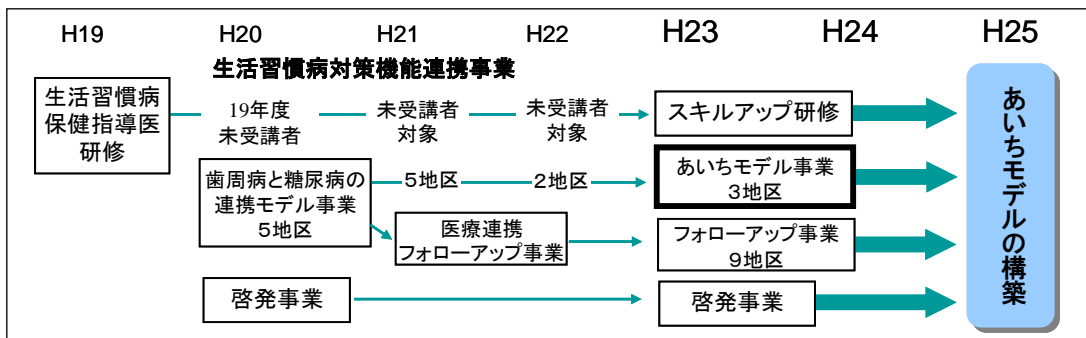


図2 愛知県が目指す歯周病と糖尿病との連携(あいちモデル)体系図(案)

